

平成28年度決算報告

平成28年度の決算が12月定例議会にて認定されました。今回はその概要を一般会計を中心にお知らせします。

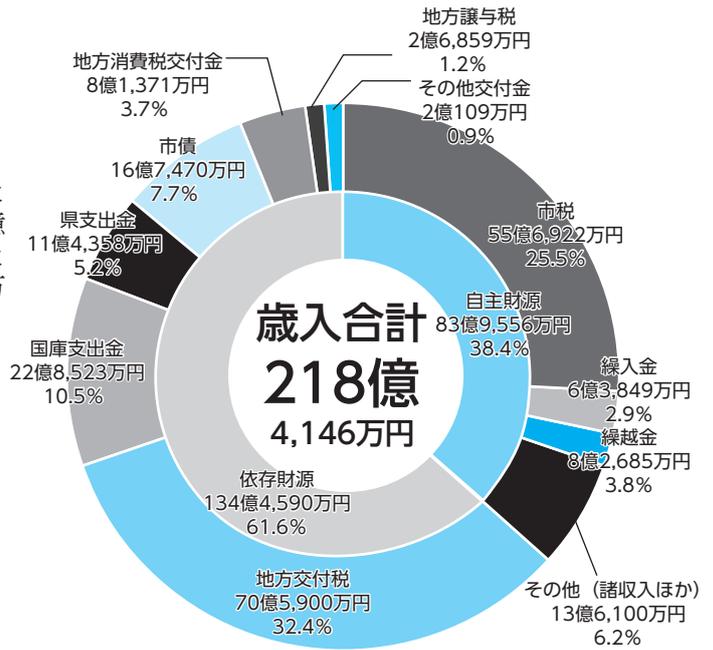
○一般会計歳入

歳入合計は218億4,146万円
前年度に比べ19億5,498万円減少

地方交付税や市債など全体で19億5,498万円減少となりました。国や県に頼った依存財源の歳入は134億4,590万円となり、前年度より15億5,588万円減少となりました。また、自主財源は前年度より3億9,910万円減少し83億9,556万円となっています。

※市税の内訳(カッコ内対前年度比率)

- ・市民税(個人) 21億6,471万円 (+2.0%)
- ・市民税(法人) 3億8,565万円 (-21.7%)
- ・固定資産税 25億2,500万円 (+4.1%)
- ・軽自動車税 1億5,579万円 (+18.6%)
- ・市たばこ税 3億3,210万円 (-4.2%)
- ・鉱産税 596万円 (-2.0%)



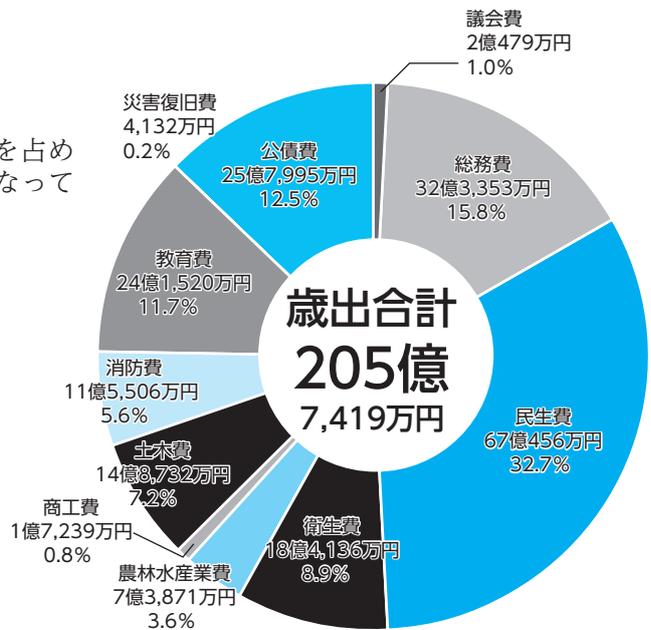
○一般会計歳出

歳出合計は205億7,419万円
前年度に比べ19億9,540万円減少

歳出を費目別で見ると、民生費が全体の32.7%を占めており、続いて総務費15.8%、公債費12.5%の順となっています。

※費目別の主な内容

- 【総務費】
- 情報通信機器管理事業 1億3,637万円
 - 本庁舎整備事業 1億2,166万円
- 【民生費】
- 障害者自立支援事業 8億2,679万円
 - 児童手当支給事業 6億5,954万円
- 【衛生費】
- 地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業 3億7,324万円
 - 山武郡市環境衛生組合負担金 2億9,741万円
- 【教育費】
- 成東学校給食センター施設管理運営事業 2億5,332万円
 - 小学校空調設備改修事業 2億1,147万円



性質別歳出(カッコ内対前年度比率)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| ○人件費 37億1,290万円 (-2.4%) | ○積立金 4億4,109万円 (-42.8%) |
| ○扶助費 33億9,707万円 (+11.3%) | ○投資及び出資金・貸付金 7,034万円 (+5.6%) |
| ○公債費 25億7,995万円 (+0.2%) | ○繰出金 22億1,022万円 (+3.8%) |
| ○物件費 27億2,233万円 (-3.6%) | ○普通建設事業費 20億5,601万円 (-26.8%) |
| ○維持補修費 1億8,253万円 (-2.5%) | ○災害復旧事業費 4,428万円 (+404.3%) |
| ○補助費等 31億5,747万円 (-27.3%) | 合計205億7,419万円 (-8.8%) |

【用語の解説】

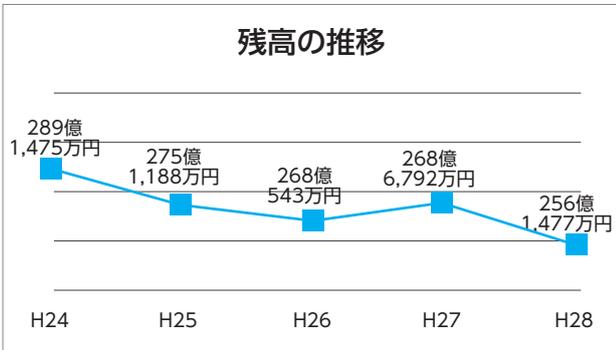
歳入
繰入金：一般会計、特別会計基金の間で移動するお金
地方交付税：どの地方自治体でも定の行政サービスが行えるように国から交付されるお金
国庫支出金：市が行う事業に対し、必要に応じて国から交付されるお金
市債：公共施設の整備などの資金として借りるお金
地方譲与税：国税として徴収された後、市に譲与されるお金(地方揮発油譲与税や自動車重量譲与税など)

歳出
扶助費：高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などへの支援に要するお金
公債費：市の借入金の返済に係るお金
物件費：市の事業に必要な消耗品や備品、委託業務などに要するお金
補助費等：部事務組合への負担金や各種団体への補助金など
積立金：計画的な財政運営や特定の支出目的のために基金に積立てるお金(市の預金)
繰出金：特別会計の事務を補助するため、一般会計から特別会計に支出したお金
普通建設事業費：道路や学校の建設など、社会資本整備に要するお金



○市債の状況

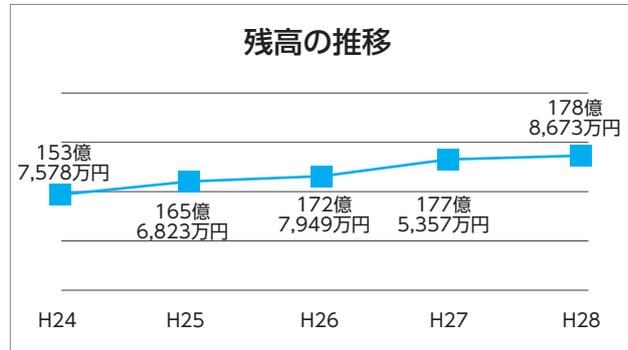
市の市債残高は256億1,477万円
前年度に比べ12億5,315万円減少



市民1人あたりの借金
48万1,698円 (-1万7,094円)

○基金の状況

市の基金残高は178億8,673万円
前年度に比べ1億3,316万円増加



市民1人あたりの預金
33万6,368円 (+6,781円)

○特別会計・公営企業会計の決算

特別会計

国民健康保険特別会計 (事業勘定)	歳入	95億5,199万円
	歳出	88億2,290万円
国民健康保険特別会計 (施設勘定)	歳入	1億3,645万円
	歳出	1億2,543万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	4億7,688万円
	歳出	4億7,343万円
介護保険特別会計	歳入	47億1,491万円
	歳出	45億5,061万円
農業集落排水事業特別会計	歳入	2億6,558万円
	歳出	2億6,301万円
組合立国保成東病院事業 清算事務特別会計	歳入	2億3,074万円
	歳出	1億6,169万円
地方独立行政法人さんむ医療 センター公債管理特別会計	歳入	1億2,374万円
	歳出	1億2,374万円

公営企業会計

水道事業会計	収益的収入	4億3,219万円
	収益的支出	3億8,471万円
	資本的収入	445万円
	資本的支出	1億9,918万円

○財政健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成28年度決算に係る健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

財政健全化判断比率

山武市の財政状況は健全段階にあります。全ての指標で国の定める基準を下回り、良好な状態にあります。

(単位：%)

区分	山武市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.84	20.00
連結実質赤字比率	—	17.84	30.00
実質公債費比率	9.7	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	—

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がないため、将来負担比率は算定値がマイナスのため「-」で表示しています。

資金不足比率

公営企業ごとの資金の不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示します。山武市は全ての公営企業で資金不足はなく、財政の健全性を保っています。

(単位：%)

会計名	山武市	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.00
農業集落排水事業特別会計	—	

※いずれの会計も資金不足が生じていないため「-」で表示しています。

☎ 財政課 ☎0475(80)1121

地域振興基金運用益金を活用した事業の報告について

市では、市民の連帯の強化や地域振興を進めるために「山武市地域振興基金」を設けており、この基金の運用から生ずる収益(運用益金)を財源として事業を展開しています。

このたび、平成28年度において運用益金を活用して実施した事業の概要について報告いたします。

事業名	総事業費(千円)	摘要
サマーカーニバル実行委員会補助事業	4,500	花火の打ち上げ代などとして活用 ※平成28年7月30日(土)開催
体験型音楽祭「山のおんぶ」事業	2,800	イベント時の音響・照明代などとして活用 ※平成28年10月23日(日)開催
ロードレース大会補助事業	2,673	市内小・中学生の参加費として活用 ※平成28年11月27日(日)開催
さんむスプリングフェスタ実行委員会補助事業	1,400	イベント時の配布用イチゴ代などとして活用 ※平成29年3月11日(土)開催
地域まちづくり協議会事業	7,087	3団体の活動費として活用
市民提案型交流のまちづくり推進事業	1,556	5件の事業実施費として活用 ※スタート部門4件 ステップアップ部門1件
合計	20,016	※総事業費のうち、運用益金から9,156,750円を充当しました。

☎ 企画政策課 ☎0475(80)1131